

「自動車工学」	教科	工業	単位数	3単位
	学科、学年、組	自動車科、3学年、3組		
使用教科書	自動車工学Ⅰ 自動車工学Ⅱ(実教出版)			
副教材等	三級自動車シャシ(日本自動車整備振興会連合会)、法令教材(日本自動車整備振興会連合会)			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	<p>工業の見方・考え方を働かせ実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して安全で安心な自動車の提供に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)自動車について構造と機能を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)自動車に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。</p> <p>(3)自動車の付加価値を高める力の向上を目指して自ら学び、自動車産業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p> <p>(H30 高等学校学習指導要領解説 工業編 文部科学省)</p>
---------	--

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれABCで評価し、各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。

評価の規準 A:十分満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技能	自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識および観察・実習の技能を習得し、実際に活用できる能力と態度が身についている。	35%	定期考査
思考・判断・表現	自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識・技術に課題等を見つけ出し、自ら思考・判断し、創意工夫して課題解決する能力が身についている。	35%	定期考査
主体的に学習に取り組む態度	自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識や技術に関心をもち、意欲的に探究するとともに、学びに向かう力が身についている。	30%	授業中の発表内容 ノート、課題、取り組む姿勢など

3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1	第5章 懸架装置・走行装置・ステアリング装置 1 懸架装置 2 走行装置 3 ステアリング装置 第7章 シャシ・ボデー 1 シャシ 2 ボデー	自動車の構造について、自動車を構成する装置の機能と性能の視点で捉え、科学的な根拠に基づき工業生産に関連付けて考察し、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、技術者として自動車の生産に活用することができるようにすること。
2	第9章 自動車の電気・電子技術 4 保安装置 5 自動車の電子制御装置 法令教材	自動車と電気・電子技術について、電気装置及び電子制御装置の視点で捉え、科学的な根拠に基づき工業生産に関連付けて考察し、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、技術者として自動車の生産に活用することができるようにすること。
3	第10章 自動車の予防安全と衝突安全 1 予防安全装置 法令教材	自動車と安全について、安全対策と事故防止の視点で捉え、科学的な根拠に基づき工業生産に関連付けて考察し、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、技術者として自動車の生産に活用することができるようにすること。